

誰一人取り残さないカーボンニュートラル に向けての提言～シェア・ファクトリー構想～

チーム名：温暖化対策チーム

メンバー：井上 智博, 永井 義人, 野村 賢司, 藤本 真樹, 吉田 行男

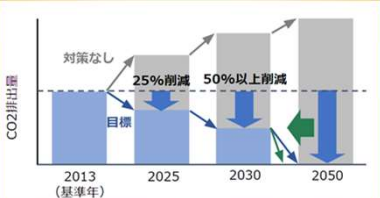
アドバイザー講師：奥岡 桂次郎, 志水 剛, 村野 宏達



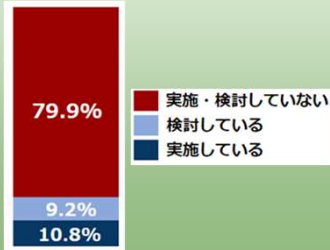
現状の把握

- ・何もしないとCO2排出量は増加
- ・中小企業の多くが未対応

大企業のCO2排出 予想と削減計画



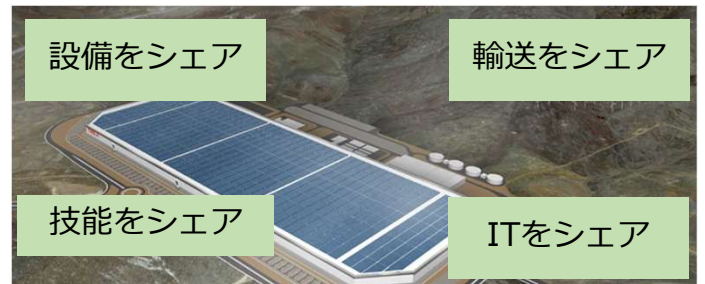
中小企業のCN施策 実行状況



20年後に向けた提言の概要

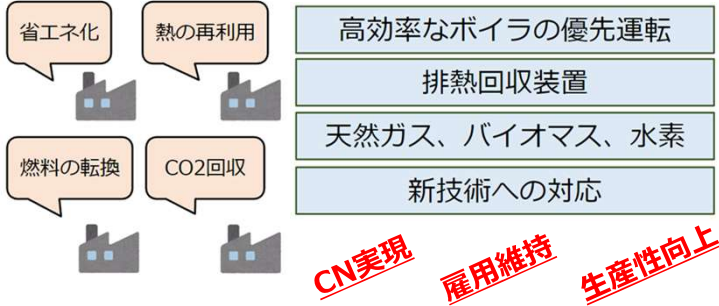
小規模事業者のシェア・ファクトリー構想

環境のための整備された大工場を小規模事業者がシェアすることで高効率な環境対策を実現



提案の内容

大規模工場であるシェア・ファクトリーは
様々な環境対策において高効率で有利



CN実現 **雇用維持** **生産性向上**

具体的な構想例

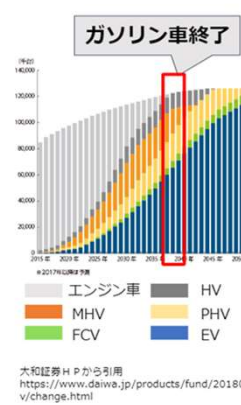
場所：金城ふ頭 工場規模
 ・陸路交通
 ・海上交通
 ・面積：0.4km²
 ・連合：20社～
 ・従業員計：1,000人



提案実現のための具体的な取組 (アクションプラン) と実現可能性

2035年のガソリン車販売終了までのパッケージ展開を目指す

世界の自動車販売台数の見通し



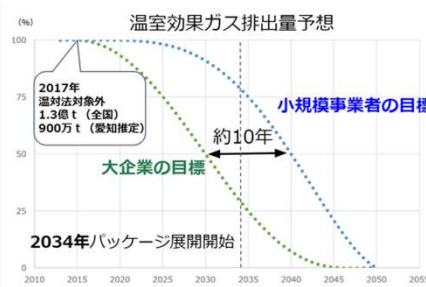
	2025	2030	2035
コンソーシアム立上			
協議・検証			
用地確保、工場建設			
試験稼働、設備導入			
モデル検証			
パッケージ展開			

- #### コンソーシアムの協議・検証
- ・シェア・ファクトリー移行評価
 - ・脱炭素評価
 - ・シナジー効果が出る企業とのマッチング支援
 - ・経済評価
 - ・人材育成
 - ・運営上の留意点と解決策の洗い出し

波及効果

- ・2034年のパッケージ展開で
大企業から10年遅れでCN対策
- ・2050年には何とか間に合う!?

誰一人取り残さないCNの達成で
「豊かな未来を作る」



成り行き姿

- CO2排出量は増加
- 大廃業時代
- EV、FCV時代への
適応問題
- 採用難、人材不足

実現させる世界

- 2050年
カーボンニュートラル
- 事業の継続・拡大
- EV、FCV時代に
適応
新技術の開発
- 優秀な人材が集まる事業
人材を育成するシステム